

苫小牧市での食品ロス削減のための取組

- **ニコトマ** 2510運動（ニコッととまチョップ運動）
宴会時の乾杯後25分間と最後の10分間は、自分の席について、料理を楽しみ、食べ残しを減らす啓発運動。
- **てまえどりPOP**
食料品店などで、商品棚手前の販売期限が迫った商品を積極的に購入してもらい、廃棄される商品を減らす取り組みで、その普及のためのPOPを市内のセブンイレブンに掲示している。
- **フードドライブ**
家庭で余った食料品を取りまとめて支援が必要な施設などに届ける取り組み。



家にある食材を「チェック」！
使い切れる分だけ買う

ポイントは「見える化」！
食材の整理整頓を心掛ける

4つのコツ
食品ロス削減の

残った料理は「リメイク」！
無駄なく調理して食べきる

買ったらすぐに「下処理」！
食材に合わせた保存方法を

豆知識

消費期限と賞味期限の違い

	消費期限	賞味期限
意味	期限を過ぎたら食べない方がいい期限	美味しく食べることができる期限
表示	年月日を表示	3か月以内は年月日、3か月を超えるのは年月表示も可
対象	弁当、サンドイッチ、惣菜、ケーキなど	缶詰、レトルト食品、カップ麺・インスタント麺など

川柳お題：「スマホ・携帯電話・タブレット」

優秀賞（勇払小学校）

スマホより 家族の話 大切に

優秀賞（和光中学校）

スキあれば まずは勉強 ホンキだせ

消費生活
川柳の紹介



くらしのニュース2月号

2023年（令和5年） NO. 500 令和5年1月25日発行
発行／苫小牧市市民生活部市民生活課 ☎32-6306（直通）

食品ロスを減らしましょう！！



「食品ロス」とは・・・
本来食べられるのに捨てられている食品のこと。

日本の食品ロスの現状

- 令和2年度の日本の食品ロス発生量は、国による推計で年間522万tとなっています。
- 国民1人あたりに換算すると、1年間で41kg、1日当たり113g（おにぎり約一個分のご飯の量に相当）を廃棄していることとなります。

食品ロス発生量の推移（国による推計値）

	H28	H29	H30	R1	R2
食品ロス（年間）	643万t	612万t	600万t	570万t	522万t
1人当たり	51kg	48kg	47kg	45kg	41kg

世界で生産される食料の3分の1（13億t）が捨てられています。地球環境に大きな負荷をかけていることから、日本でも食品ロス削減推進法が成立しました。全国的に食品ロス発生量は年々減少傾向にありますが、北海道内の食品ロス発生量は、平均35.2万tとなっており、そのうち家庭から出る食品ロスは、約11万tで横這いとなっています。食品ロス削減は、家計の支出削減にも効果的であり、私たち消費者も買い物の仕方や調理法の工夫などで、削減に取り組みしましょう。

